

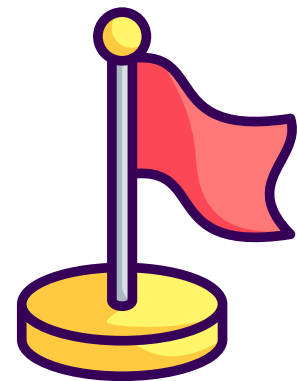


ALL AROUND MABU

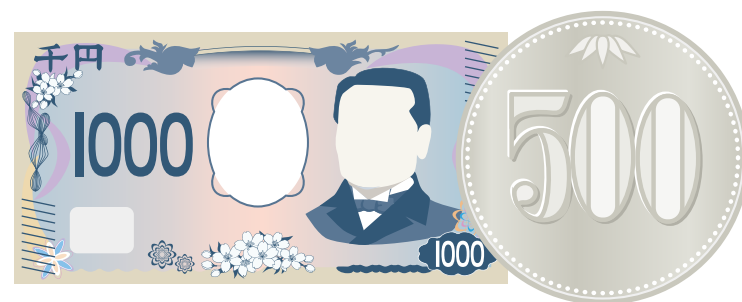
2月21日～23日
龍源寺間歩探検ガイド
実証実験結果

一般社団法人石見銀山みらいコンソーシアム
伊藤俊一

実証実験概要



- 龍源寺間歩の入場券と周辺域ガイドをセットにした商品
 - 「龍源寺間歩たんけんガイド」として販売する



- 大人1500円（龍源寺間歩入場料＋50分ガイドつき）
 - 小人は保護者が必要
 - 障害者などは割引価格＋1000円の値段設定
- 単体の龍源寺間歩の入場券も販売する



- 実証時間：9:40～16:10
 - 最初のガイド：9:40～最後のガイド：15:20
- ガイドツアーの数とスケジュール周辺域の50分ガイドを行う
 - 1ガイドグループの定員は10名まで（1日18回ガイドを行う）



龍源寺間歩周辺域 シルバースポット

① チケット売場

龍源寺間歩周辺観光のスタート地点。入場券の購入や観光案内、休憩のほか、銀山にちなんだお土産の購入もできます。

② 高橋家と庭園

鉱山で働く労働者の取りまとめ役を務めた石見銀山の山師・高橋氏の住宅です。川の対岸に庭を設けていて、経済力と文化水準の高さを示しています。

③ 岩肌に残る間歩の跡

岩肌には間歩(坑道)の跡が数多く残っています(赤い杭が目印)。石見銀山には、大小あわせ1000もの鉱石の採掘や水抜き、試掘に使われた間歩があります。

④ 大谷地区の製錬所跡・栃畑谷地区の製錬所跡

掘り出された鉱石から銀や銅を取り出す作業を行っていた建物がありました。石見銀山の製錬場所としては大規模なものです。栃畑谷地区では現在発掘調査を行なっています。

⑤ 龍源寺間歩

江戸時代初めに開かれ、多くの銀を産出した五大坑道の一つ。現在も内部を歩いて見学でき、手掘りの跡を間近に見ることができます。

⑥ 佐毘売山神社

鉱山の神・金山彦命(かなやまひこのみこと)を祀る社。銀山で働く人々が、採掘の安全と繁栄を願って参拝しました。

⑦ 露頭掘り跡

岩肌に斜め方向に連続している小さな溝は、地表から直接鉱脈を掘った跡(露頭掘り跡)です。

⑧ 太鼓堂跡

時計の普及していなかった時代に、太鼓を打ち鳴らすことで銀山全体に時を伝えていた建物があった場所です。

石見銀山を歩きながら学ぼう!
龍源寺間歩周辺域
Walking Map

石見銀山 龍源寺間歩
島根県大田市大森町 TEL0854-89-0347(管理棟)
指定管理者 (一社)石見銀山みらいコンソーシアム
島根県大田市大森町490 <https://mirai.iwamiginzan.jp/>





実証実験の結果



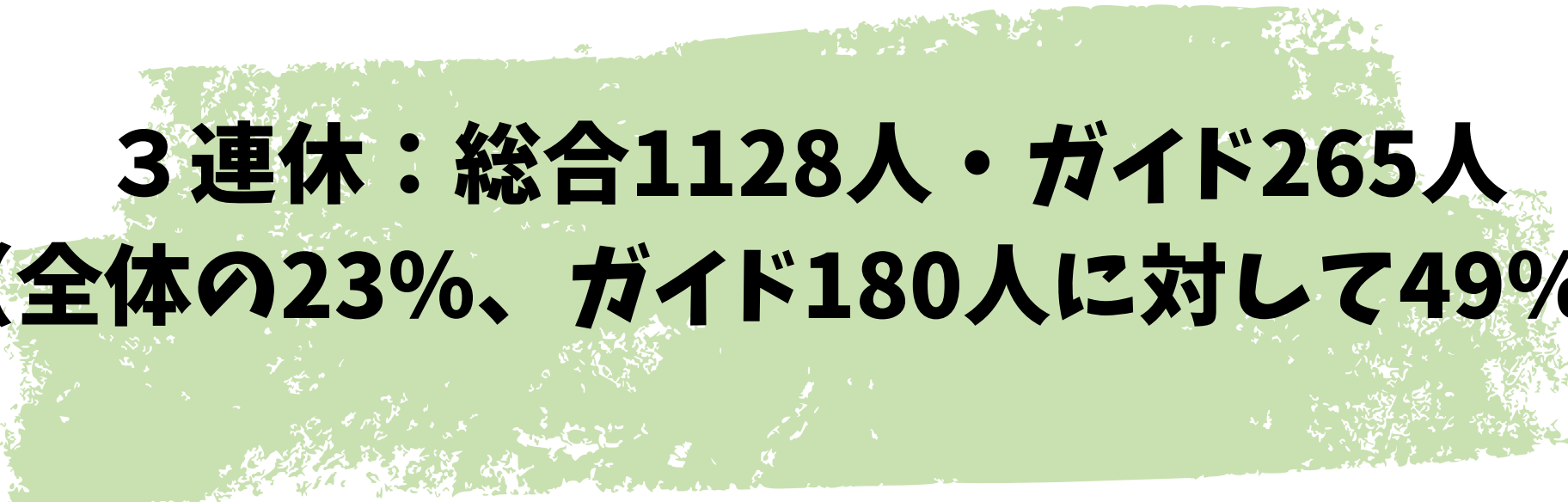
21日：総合299人・ガイド76人（全体の25%、ガイド180人に対しての42%）



22日：総合538人・ガイド104人（全体の19%、ガイド180人に対しての57%）



23日：総合291人・ガイド85人（全体の29%、ガイド数180人に対して47%）



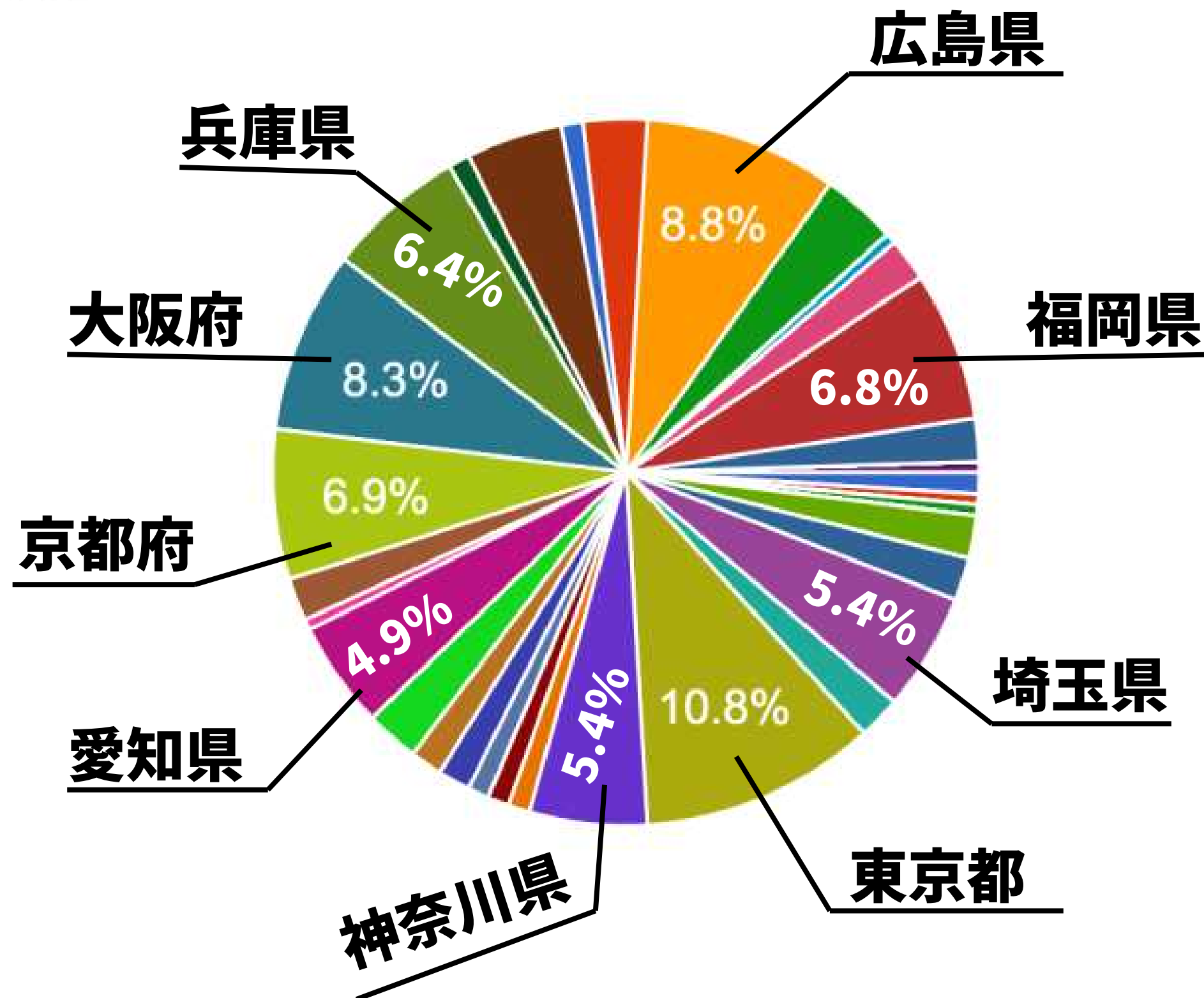
**3連休：総合1128人・ガイド265人
（全体の23%、ガイド180人に対して49%）**



アンケート結果

現在お住まいの県を教えてください

204 responses

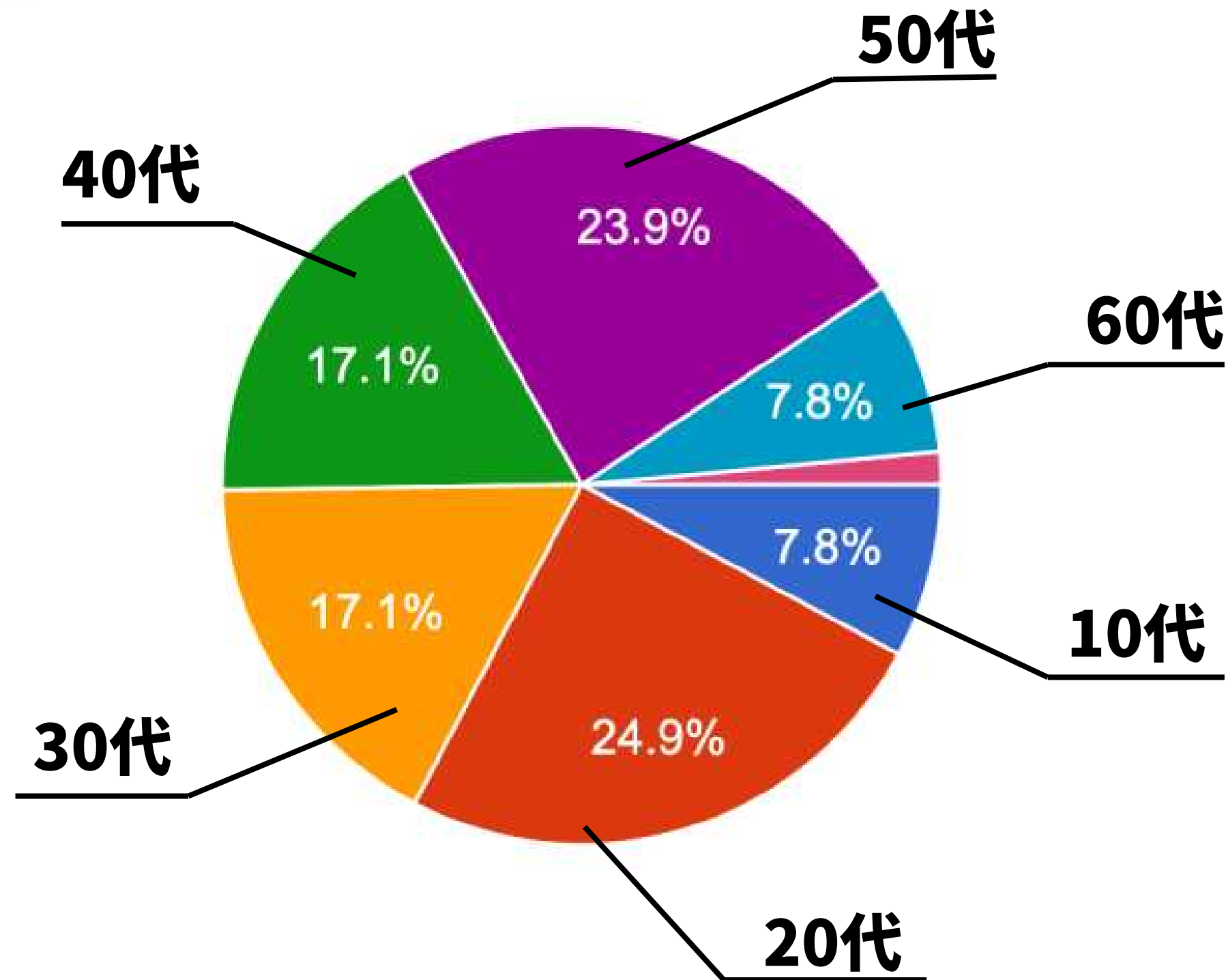




アンケート結果

ご年齢

205 responses

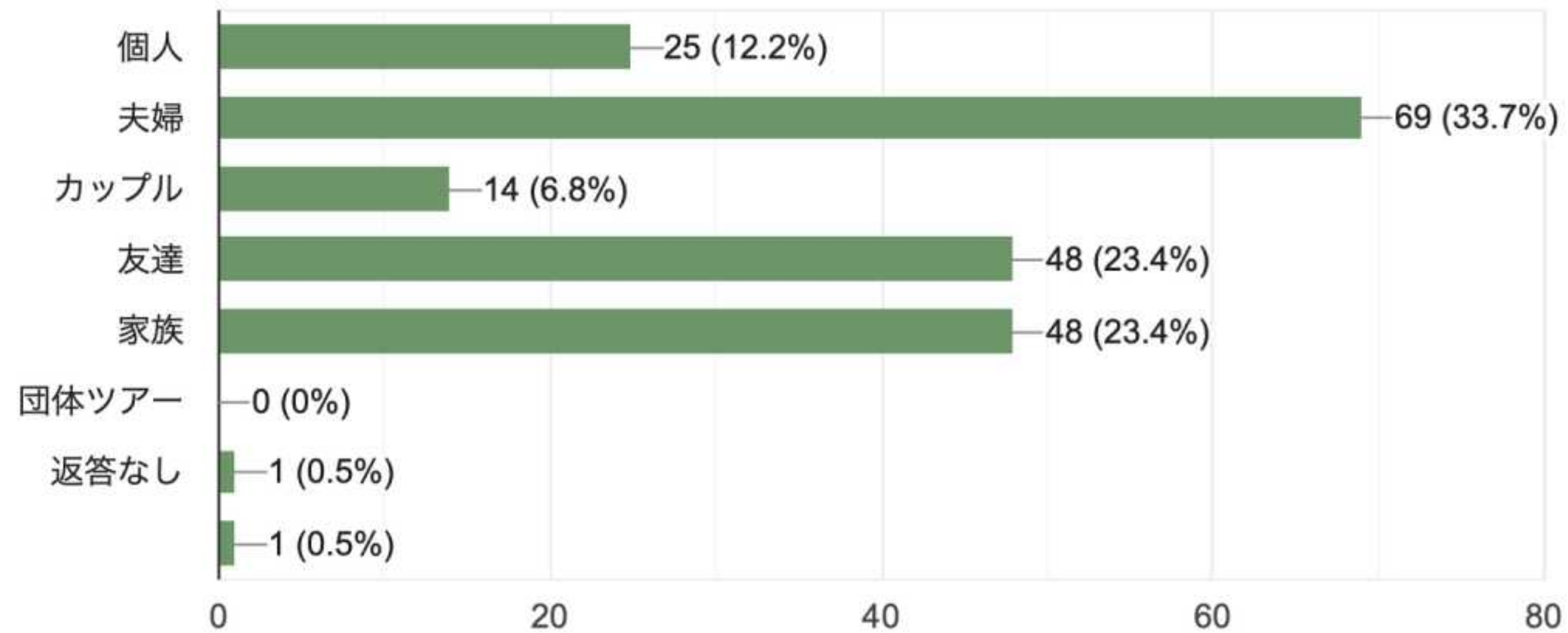




アンケート結果

誰と石見銀山に来ましたか

205 responses

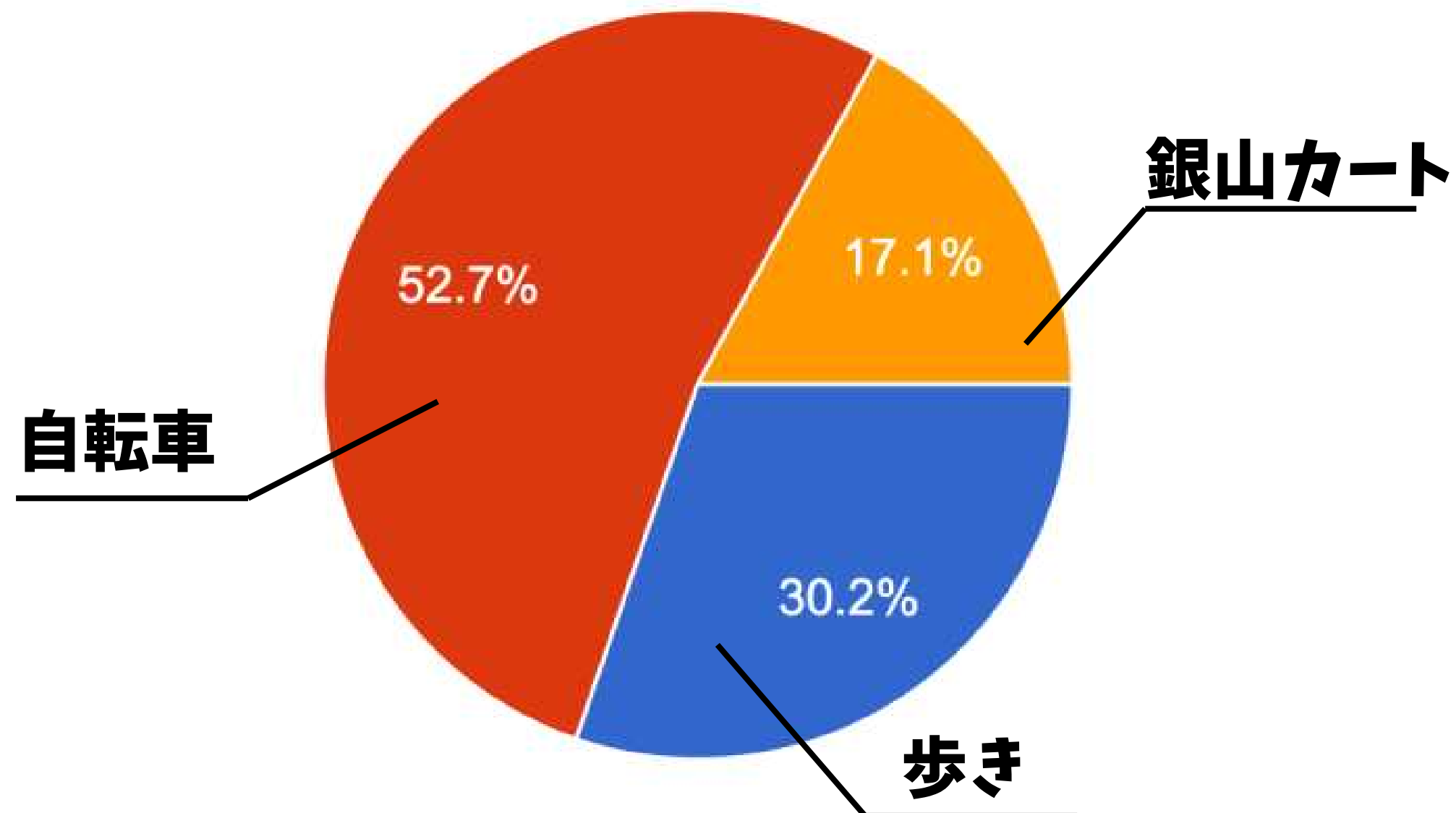




アンケート結果

龍源寺間歩へはどのように来ましたか

205 responses



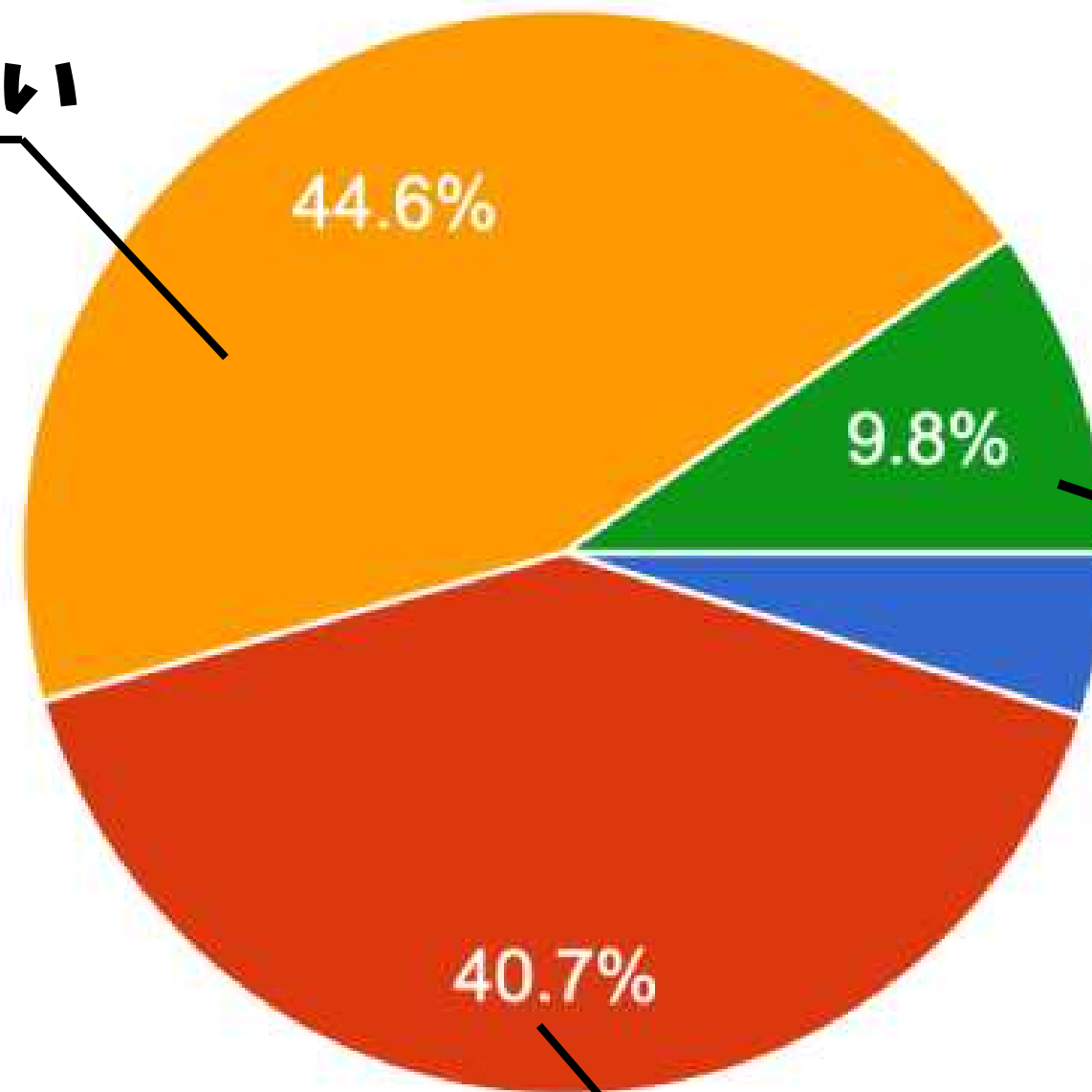


アンケート結果

普段、観光地でガイドを受けることはありますか

204 responses

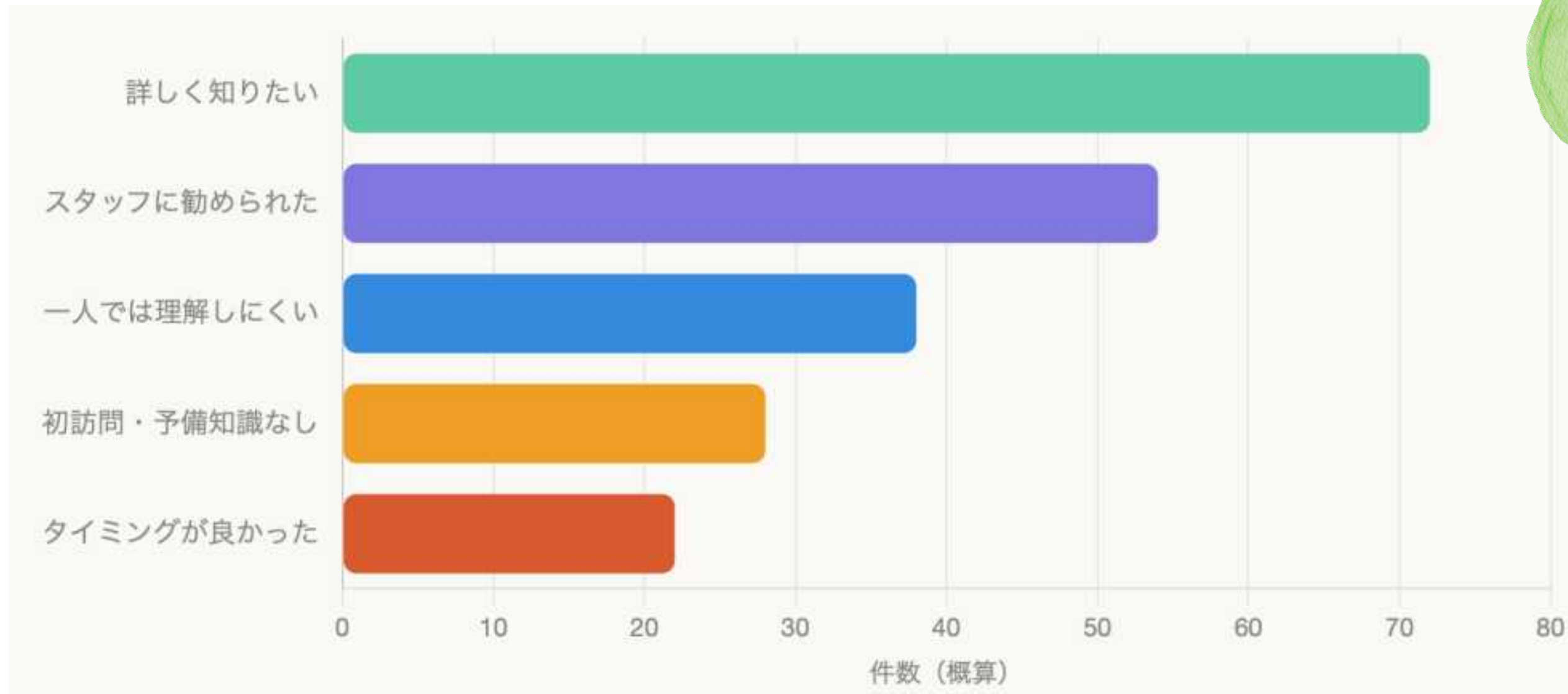
ほとんどない



全くない

たまにある

アンケート結果



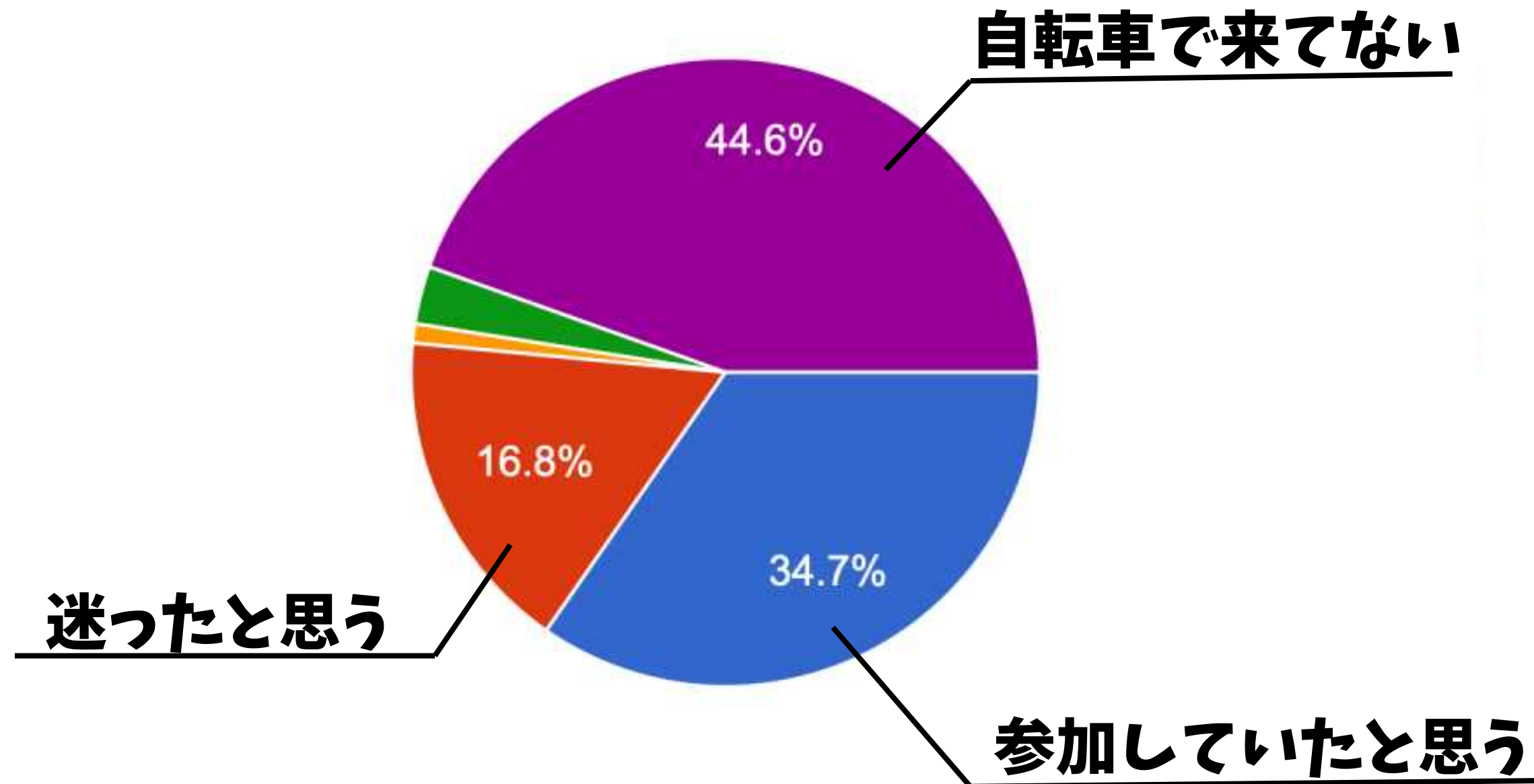
- ・ 詳しく知りたい（回答の約40%） — 圧倒的に最多。「詳しく知りたい」「より深く学びたい」という声が多い。
- ・ スタッフに勧められた（約30%） — 受付・チケット売り場でのスタッフの声かけが大きなきっかけに。フロントスタッフの案内が非常に効果的であることがわかります。
- ・ 一人では理解しにくい（約21%） — 説明なしでは坑道や歴史的背景が理解しづらいと感じた訪問者が多い。
- ・ 初訪問・予備知識なし（約16%） — 初めて来た・知識がないからこそ、世界遺産をじっくり楽しみたいという動機
- ・ タイミングが良かった（約12%） — ちょうどツアー開始時間に合ったため、気軽に参加できた。
- ・

まとめ: 「学びたい」という動機と「スタッフの誘導」の2つで参加者の半数以上を占めており、受付スタッフの積極的な案内が集客に大きく貢献していることがわかります。



アンケート結果

(自転車で来られたお客様) レンタサイクルの延長券がなかった場合でも、ガイドに参加してましたか
202 responses

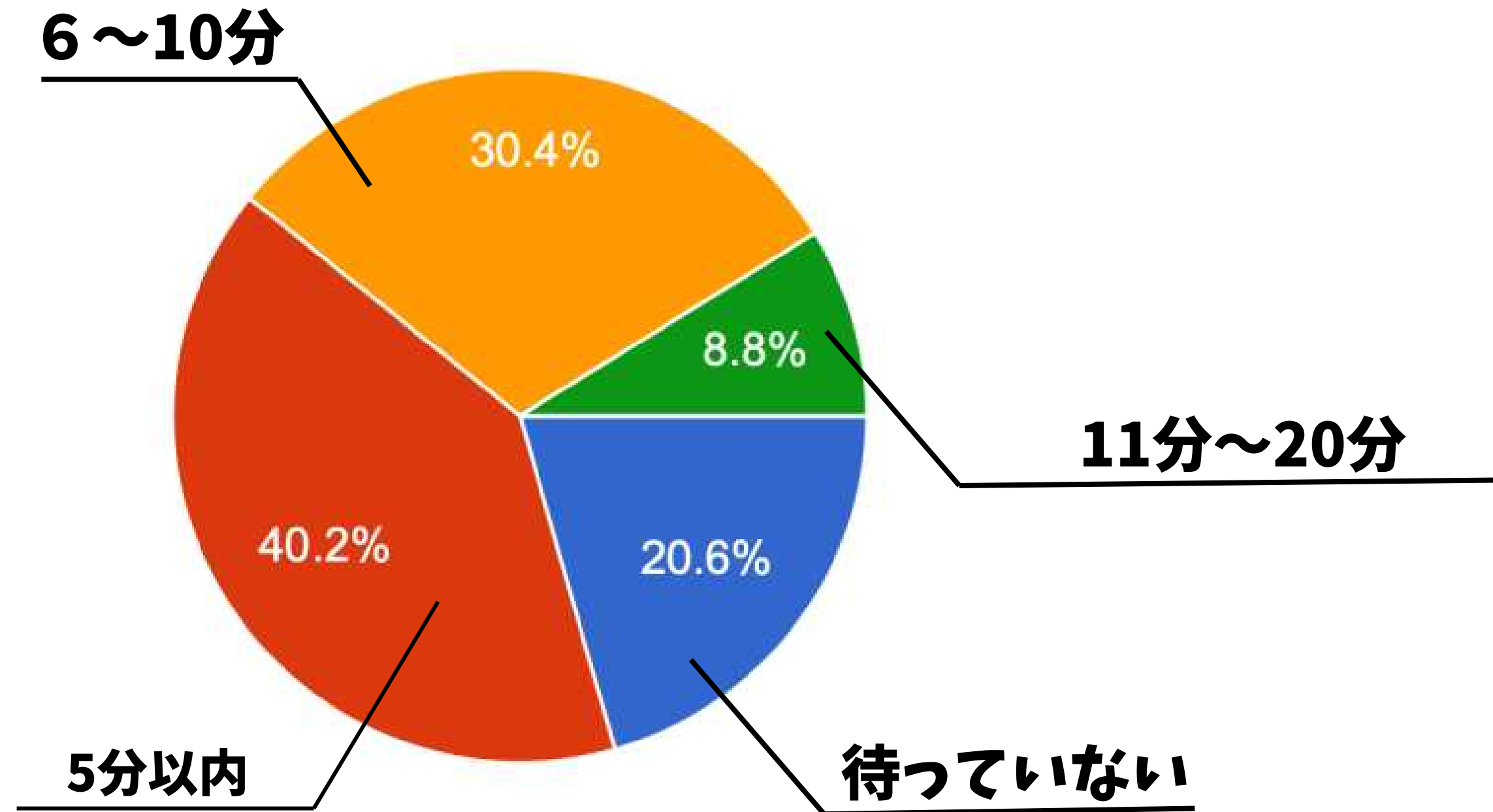




アンケート結果

ガイドが始まるまで、どのくらい待ちましたか

204 responses

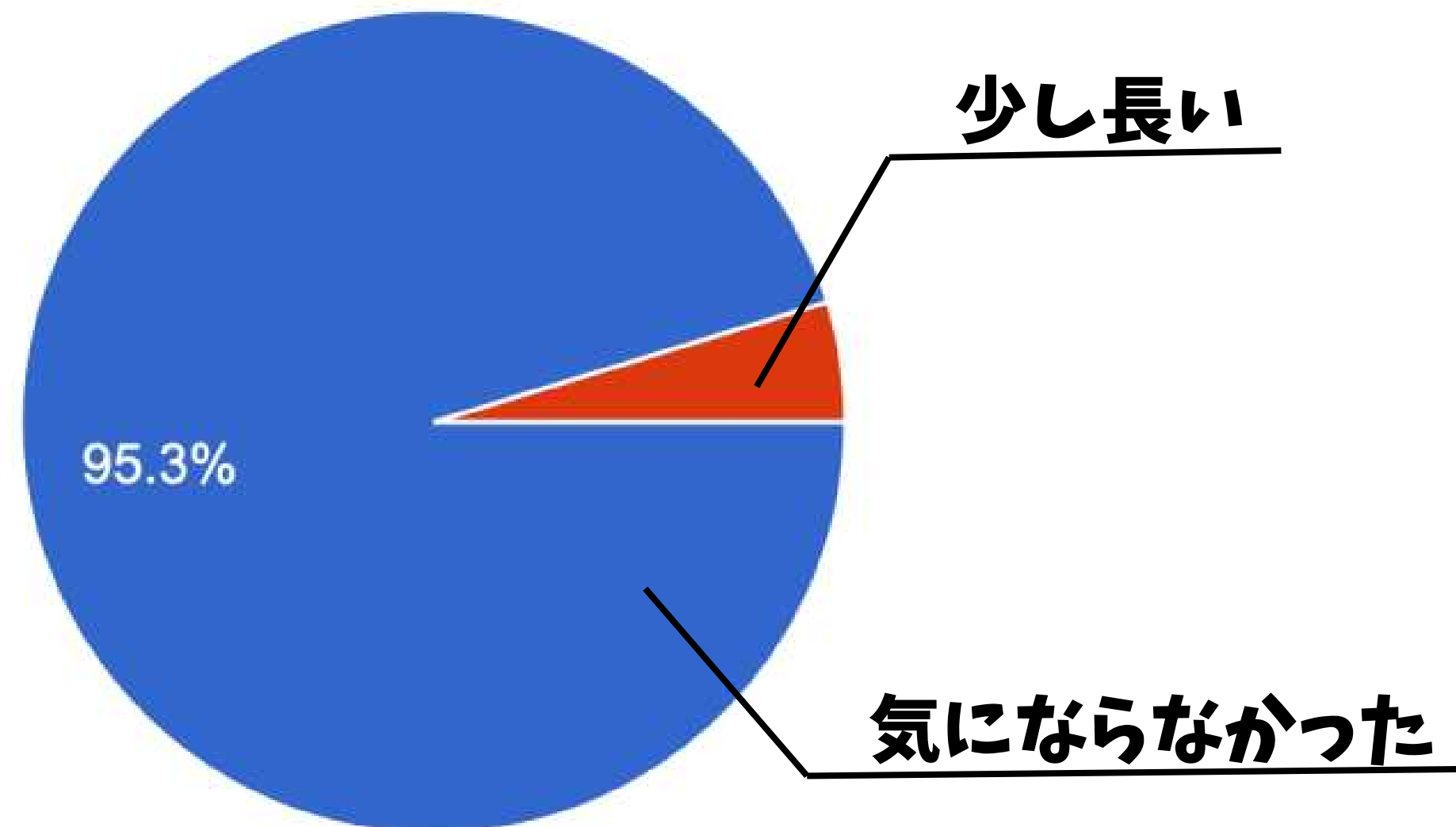




アンケート結果

その待ち時間について

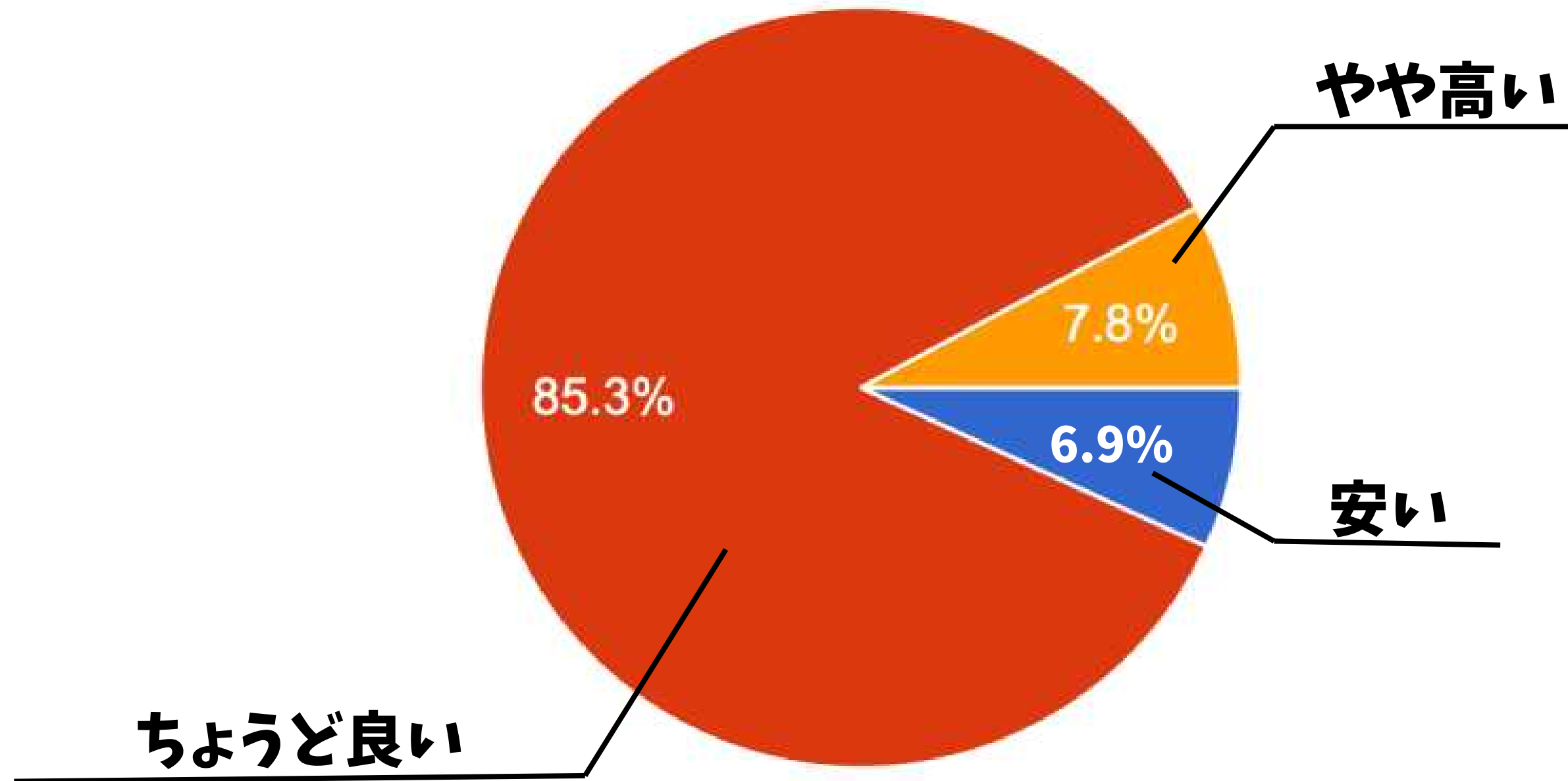
106 responses



今回のガイドツアーの料金は
204 responses



アンケート結果

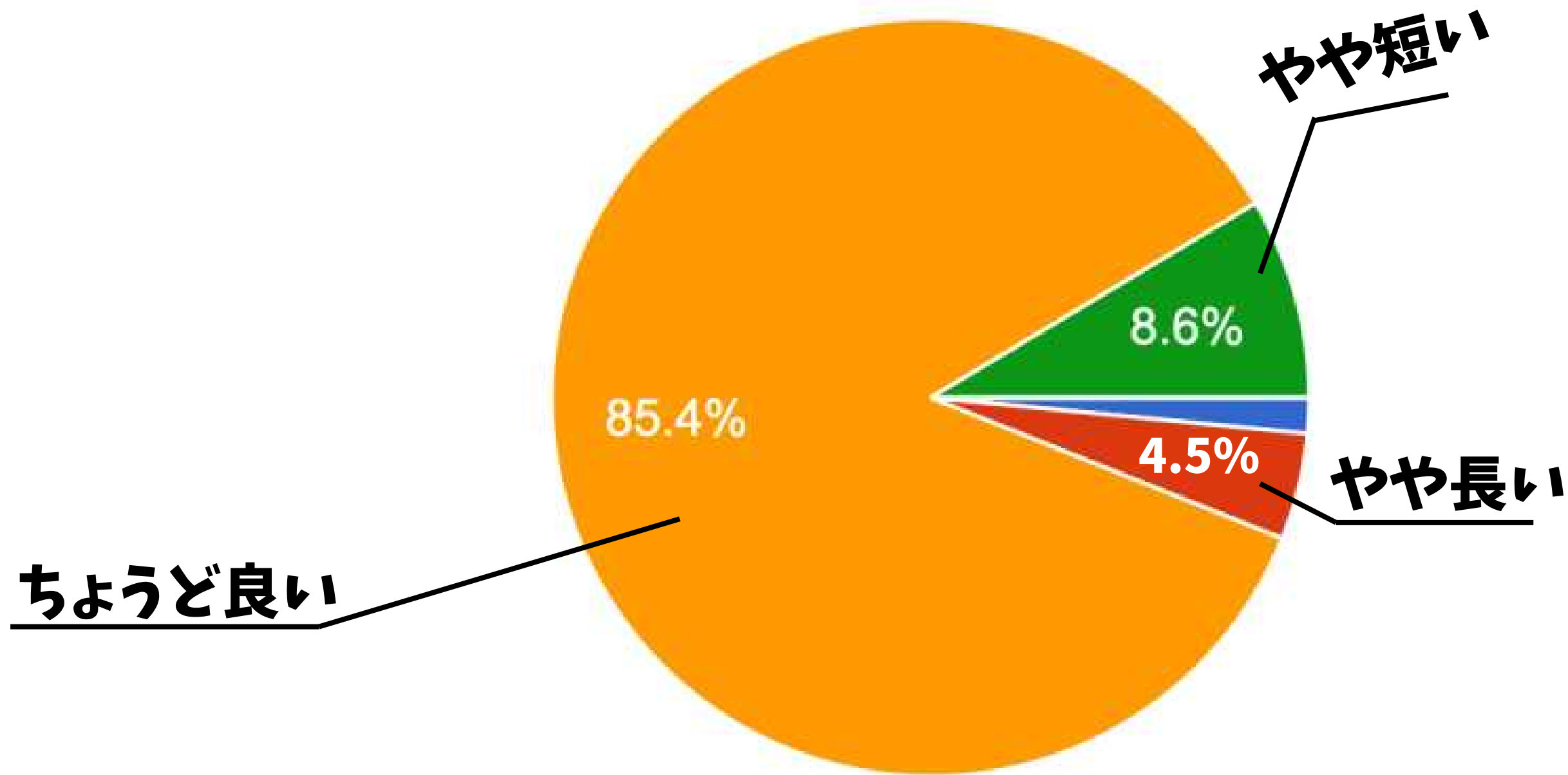




アンケート結果

ガイドの時間の長さはいかがでしたか

198 responses

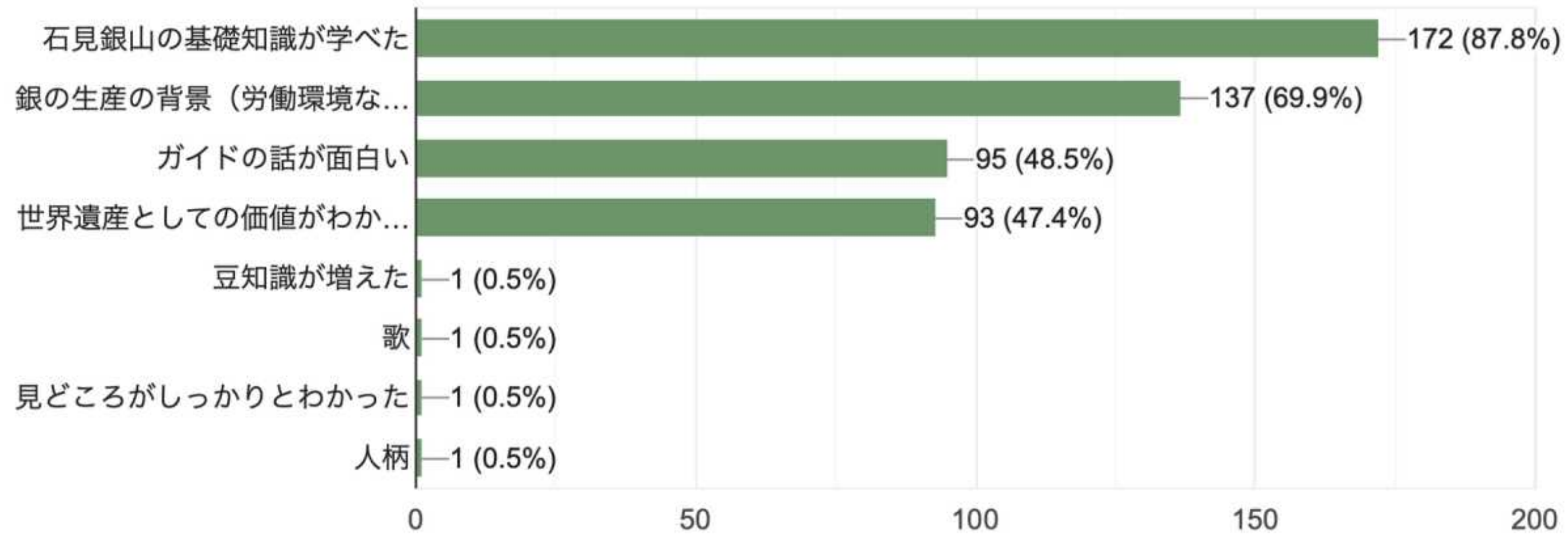




アンケート結果

ガイドのどの点に価値を感じました？（複数選択可）

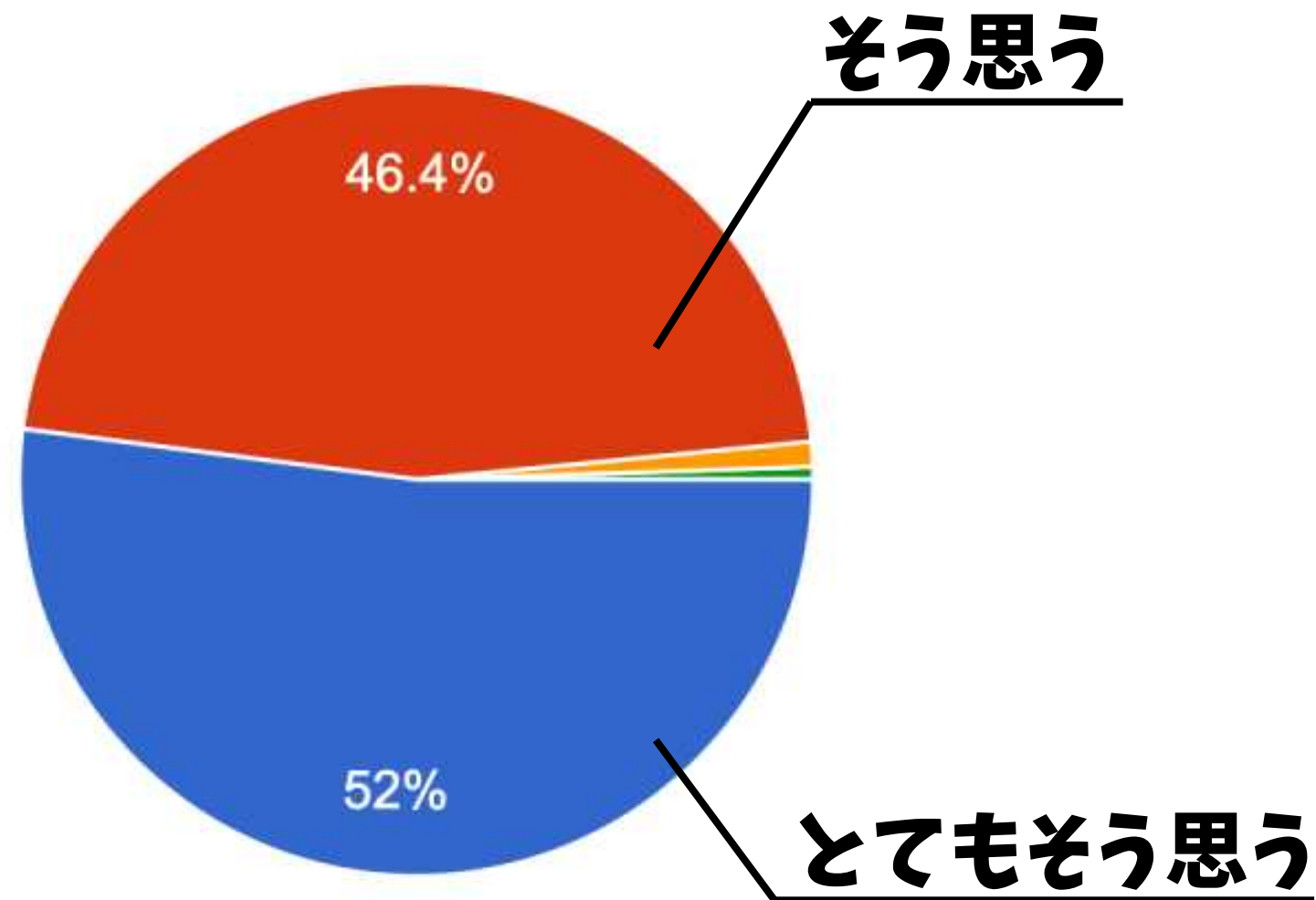
196 responses





アンケート結果

今日のガイドで、石見銀山について知識が深まり、この場所の価値・重要性が理解できましたか
196 responses

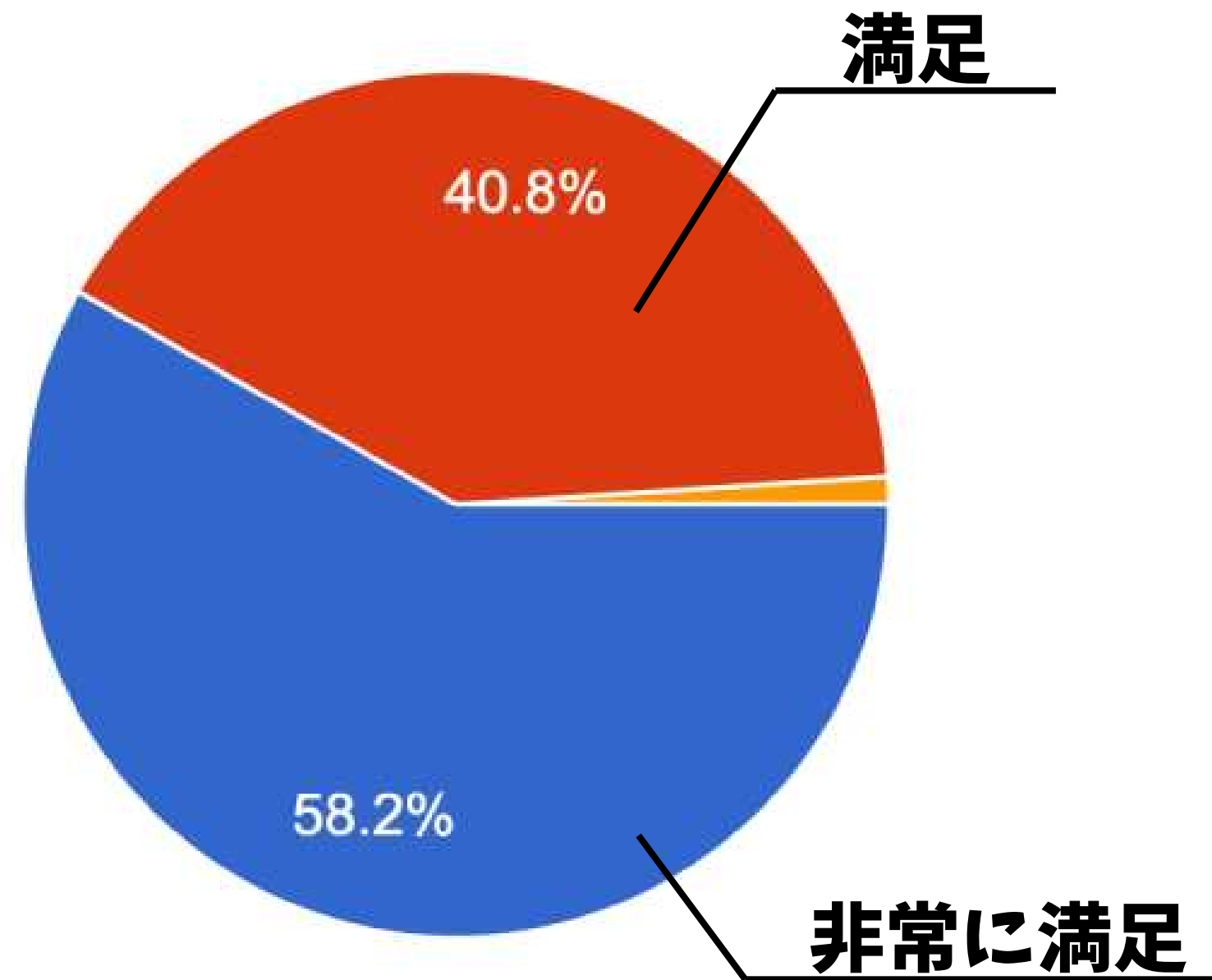




アンケート結果

総合的に、本日のガイド体験に満足しましたか

196 responses

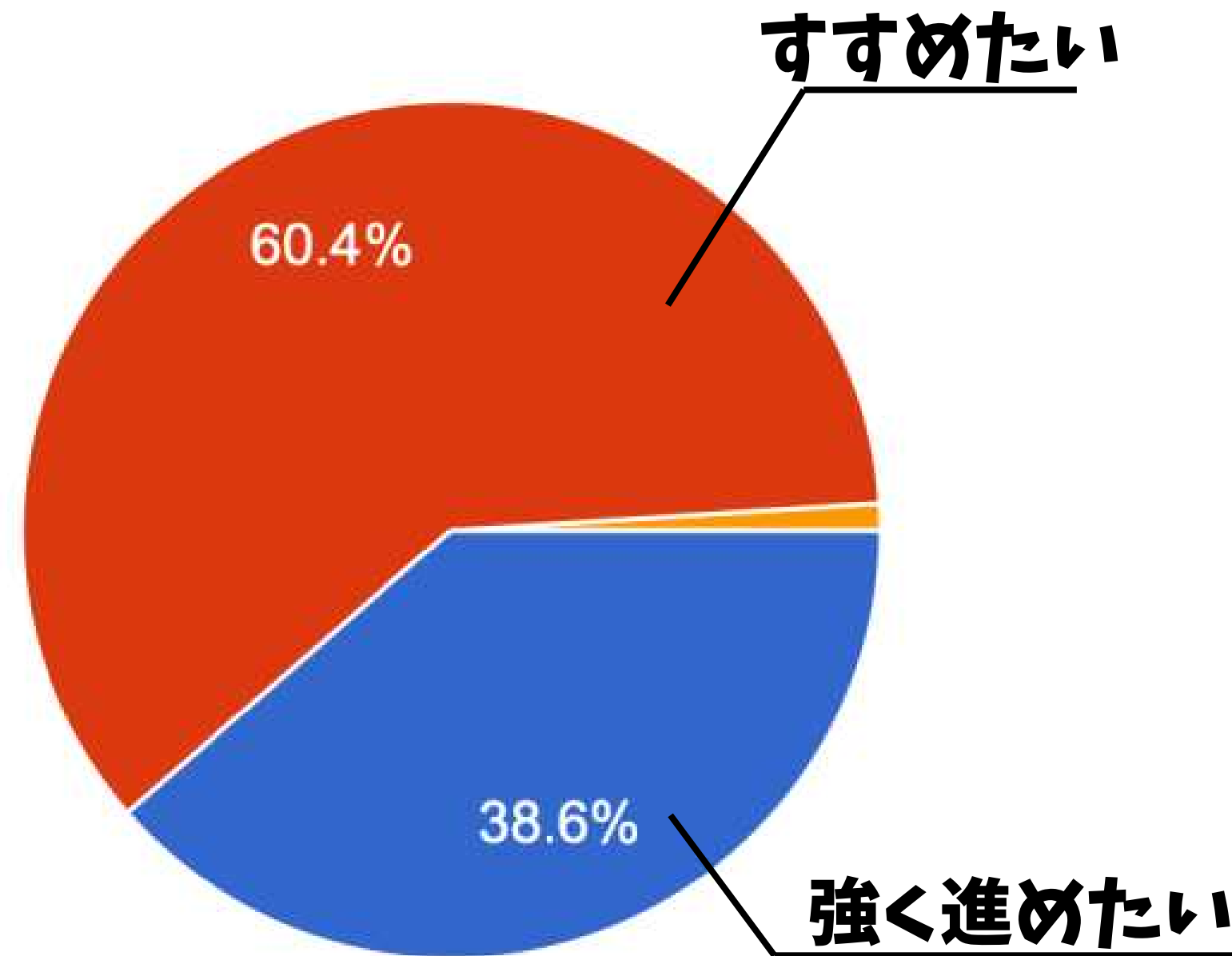




アンケート結果

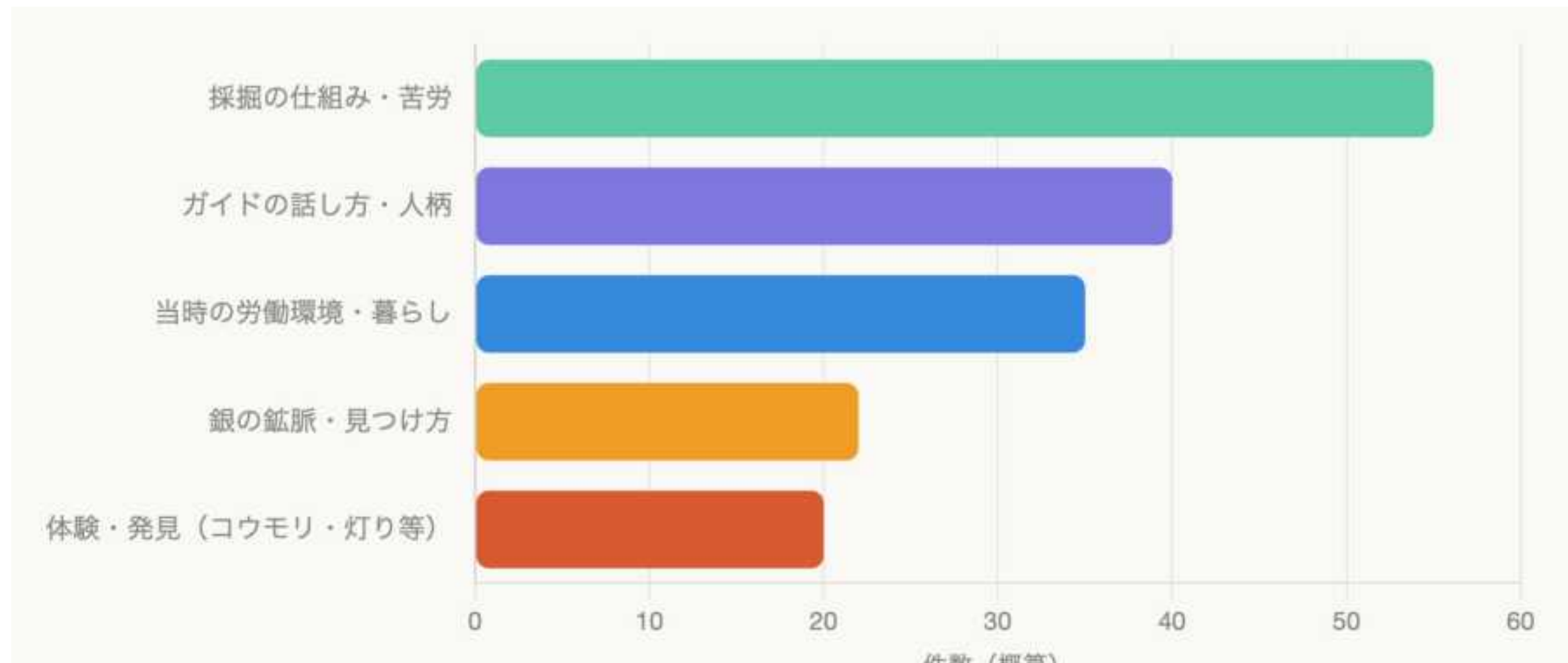
このガイドを人に勧めたいと思いますか

197 responses





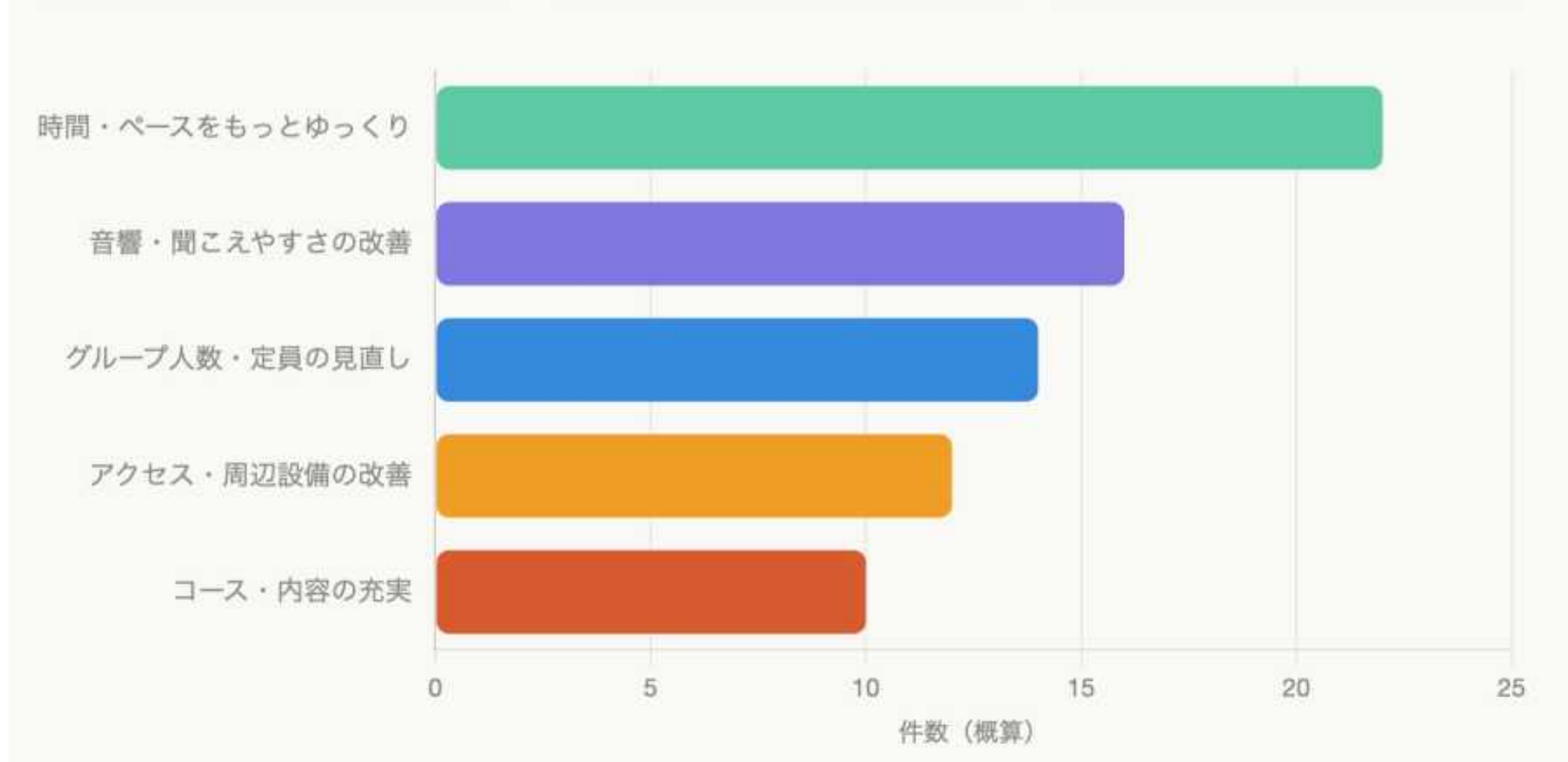
アンケート結果



- ・採掘の仕組み・苦勞（約35%） — 「1日30cmしか掘れない」「人力で掘ることの大変さ」など、採掘の過酷さと技術に関する学びが最多。
- ・ガイドの話し方・人柄（約25%） — 「わかりやすい」「丁寧」「面白い」「フレンドリー」など、ガイド自身への高評価が非常に多く、人柄が体験の質に直結しています。
- ・当時の労働環境・人々の暮らし（約22%） — 鉱夫の寿命の短さ、10代の若者が働いていた事実、日当2万円相当など、当時の生活リアルに関心が集まりました。
- ・銀の鉱脈・見つけ方（約14%） — 「銀が黒いこと」「鉱脈の走り方」など、銀そのものの知識に興味を持つ声。
- ・体験・発見（コウモリ・灯り・坑道の狭さ）（約13%） — 実際に入って感じた坑道の暗さや狭さ、コウモリを見たこと、ろうそくの灯りを体験したことなど、五感で感じた発見への言及。
- ・まとめ: 知識の満足だけでなく、ガイドの人柄への言及が非常に多いのが特徴です。ガイドの質がそのまま体験の満足度を左右しているといえます。



アンケート結果



- ・ **時間・ペースをもっとゆっくり** — 最も多い要望。「駆け足だった」「60分にしてほしい」など、内容への満足度が高いからこそ「もっと時間が欲しい」という声に繋がっています。
- ・ **音響・聞こえやすさの改善** — 列の後方では説明が聞こえないという物理的な課題。ヘッドセットマイクや小型インカムの導入を求める声が複数。
- ・ **グループ人数・定員の見直し** — 「4～5人が限界」「1ガイドに1グループが理想」など、坑道の狭さゆえの問題。複数グループが重なる状況への不満も。
- ・ **アクセス・周辺設備の改善** — 駐車場不足、駅からの交通手段、自転車返却場所など、ツアー前後の移動に関する課題。
- ・ **コース・内容の充実** — ショート・ロングコースの選択肢、世界遺産登録の経緯、採掘体験コーナーなど、さらに深く楽しみたいというポジティブな要望。
- ・ **注目点:** 約25%は「このままでよい・特になし・満足」と回答しており、基本的な満足度は高い一方、「もっと体験したい」という前向きな改善要望が目立ちます。